

# 直播栽培でも安心 テンサイ黒根病の防除対策

道総研 北見農業試験場 研究部 地域技術グループ・生産環境グループ  
農研機構 北海道農業研究センター 畑作物開発利用研究領域 テンサイ育種グループ

## 1. 成果の概要

- (1) 黒根病発生履歴のある圃場においては、可能な限り抵抗性“強”品種を作付けする。
- (2) 発生履歴のある圃場で抵抗性“やや強”品種を作付けする場合は、7月上旬の薬剤株元散布が有効である。
- (3) 移植栽培と同様に、圃場の排水対策を基本技術として実行する。

## 2. 成果内容

黒根病は、てんさいの重要な病害の一つです。2010年と2016年の被害面積は約1割に達し、近年は多発傾向にあります。現在の防除対策は移植栽培に向けたものであるため、直播栽培における防除対策を示しました。直播栽培は、黒根病による被害が移植栽培より大きくなりやすいです。

抵抗性“強”品種の防除効果が最も高く安定しており、“やや強”品種では薬剤の株元散布も有効でした。

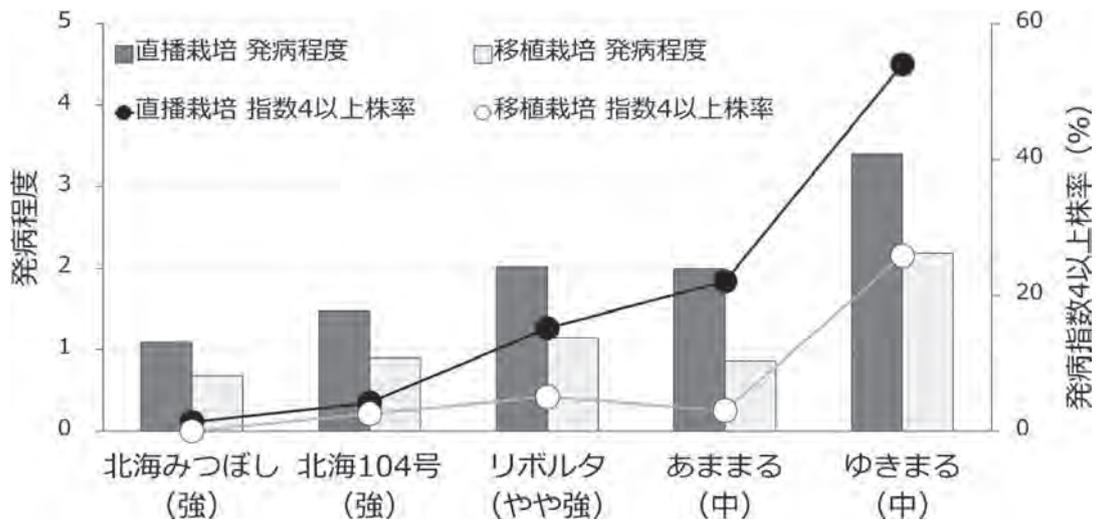


図1 抵抗性が異なる品種の移植栽培と直播栽培における発病  
(十勝管内現地圃場、2019年)

注) 発病指数が4以上の株は圃場で廃棄となる。➡発病指数4の株

